

## 中小企業景況状況

射水商工会議所管内（新湊地区）における中小企業の景気動向を定期的に把握し、情報の提供並びに射水商工会議所が行う経営支援の基礎資料に資するため、四半期毎に定点観測を実施する。今年度の第2回目として、平成29年7～9月期実績および平成29年10～12月期見通しを対象期間として調査した。

《回答企業内訳及び回答率》

業種	対象企業数	回答企業数	回答率 (%)
製造業	10	10	100%
建設業	10	10	100%
小売業	10	10	100%
サービス業	10	10	100%
卸売業	10	10	100%
合計	50	50	100%

※本調査でのD.Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について、前年同期比および前期（四半期前）と比較して増加（上昇・好転）企業割合と減少（低化・悪化）企業割合の差を示すものである。

《主要景況項目》

### ○産業全体 → [全産業](#)

- 業況判断D.Iは、前年同期比 $\Delta 10.2$ ポイント、前期比 $\Delta 13.0$ と悪化している。来期は $\Delta 11.6$ ポイントで、悪化の見通しである。
- 売上額D.Iは、前年同期比 $\Delta 4.0$ ポイント、前期比 $\Delta 18.0$ で減少している。
- 採算（経常利益）D.Iは、前年同期比 $\Delta 10.2$ ポイント悪化している。今期の業況水準では赤字企業が黒字企業を2ポイント上回っている。
- 従業員（含臨時・パート）D.Iは $\Delta 16.7$ ポイントと従業員が不足している企業の割合が大きくなっている。

### ○産業別

- サービス業は、前期と比べ、売上額は大きく減少し、業況D.Iは $\Delta 30.0$ と悪化している。来期の業況も悪化の見通しである。 → [サービス業](#)
- 建設業の業況は、前期と同様であるが、来期の業況D.Iは11.1ポイントで好転の見通しとなっている。従業員D.Iは $\Delta 50.0$ ポイントで深刻な人手不足といえる。 → [建設業](#)
- 卸売業は、前期と比べ、売上額が減少し、業況は悪化した。来期の業況は、今期と同様の水準となる見通しである。 → [卸売業](#)
- 製造業は、前期と比べ、加工単価は上昇したものの、売上数量が減少し、売上額D.Iは $\Delta 10.0$ 、業況D.Iも $\Delta 22.2$ ポイントとなっている。来期は悪化の見通しである。 → [製造業](#)
- 小売業は、前期と比べ、客単価・客数共に減少し、売上額D.Iは $\Delta 20.0$ ポイントとなっている。前期と比べ、今期の業況D.Iは12.5ポイントであったが、来期は、悪化の見通しである。 → [小売業](#)